



大切な情報やアイデアから  
新たな価値創造を促す、  
知的生産ツール。  
セキュリティを確保しながら  
情報共有と議事録作成、印刷を効率化!

### 残す その1

板書内容のカメラ撮影やUSBメモリへの保存はセキュリティの課題です。

### 情報漏えいリスクを低減!

プラスのコピーボードを使って、議事録をネットワークで共有すれば、USBメモリや出力紙を持ち歩くことによる、紛失、漏えいといったリスクが低減。



### 残す その2

印刷先を1台に集約することで、メンテナンスの省力化が可能です。

### 複合機から 簡単・スムーズにプリントアウト!

プラスのコピーボードは、ネットワーク経由でオフィスの複合機から板書内容をプリントアウトできます。



BMLinkS※に対応した共有プリンタや複合機なら、社内LANに接続したコピーボードからプリントできます。

#### 【ご注意ください】

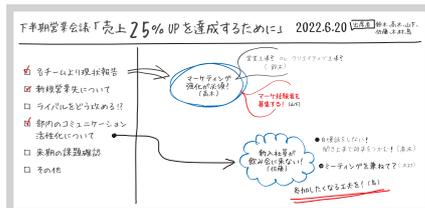
BMLinkSに対応したプリンタの数が年々減少してきております。弊社のコピーボードは引き続きBMLinkS機能をご使用いただけますが、BMLinkSによるネットワーク印刷をご検討におかれましては、ご購入のプリンタがBMLinkSに対応しているか否かの確認を十分に行ってくださいませよう、お願い申し上げます。 ※BMLinkSについてはP.368をご参照ください。

### 共有する

会議の記憶が曖昧になる前に、議事録作成・共有をすることが重要です。

### 議事録作成・共有の効率アップ!

コピーボードなら、板書した内容をそのままデータ化できるので、簡単・スピーディーに議事録の共有が行えます。



1 日付・時間・場所・参加者を板面に明記することで、議事録フォーマットへの記入を省くことができます。

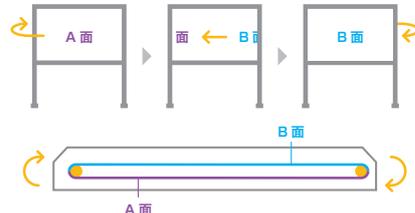
2 議題や目標、決定事項を板面に明記することで、板書内容がそのまま議事録になります。

### コピーボード(電子黒板)とは?

「コピーボード」は、ボードマーカーで板面シートに書いた内容を、シートをスクロールさせて内蔵の光学システムで読み取り、印刷、またはデータとして保存できるビジネスツールです。ワーカーのアイデアや情報を板面シートに書き出しながらすばやくまとめることができ、さらにその内容を即座に共有できます。

### コピーボードの仕組み

「コピーボード」は、A面(表面)とB面(裏面)が1枚のシートで構成された板面となっています。A面に書かれた内容をコピーする際はシートがスクロールし背面へ移動し、何も書かれていないB面が前面へ出てくるので、効率よく使用できます。



### 多彩なネットワーク保存機能

#### ネットワーク保存



ボード本体保存/FTPサーバ保存

#### ●ボード内蔵メモリへ

ボードに書いた内容は、本体内蔵メモリに約100枚保存可能。直接LANにつながる、一般的なウェブブラウザを使って板書データを開覧・ダウンロードすることができます。ウェブブラウザで板書データを開覧する際、パスワードによるアクセス制限も設定できます。

#### ●FTPサーバへ

ネットワーク設定を切り替えて、FTPサーバへの保存も可能です。

### その他の保存機能

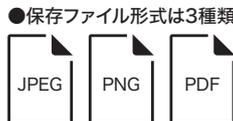
#### USB保存



USBフラッシュメモリにカラー画像をワンタッチで保存することができます。USB保存を禁止する設定も行えます。



1GBのUSBメモリなら約4,800枚分の画像が保存できます。USBポートは正面から見える位置なので、差し込みの手間取ることもありません。



●保存ファイル形式は3種類  
保存形式は、JPEG、PNG、PDFの3種類。パソコン上でそのまま確認できるほか、メールに添付したりドキュメントに貼り付けるなど、便利に活用できます。

#### PC直接保存

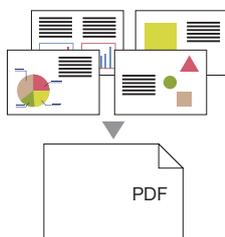


ボードとパソコンをUSBケーブルで接続すれば、専用のソフトウェア不要、OS不問で板書データをパソコンに保存できます。セキュリティに配慮して、保存できるデータは1枚分のみ。USBケーブルを抜くとデータは自動で消去されます。パソコンへの保存を禁止する設定も行えます。

### その他の便利な機能

#### 連続スキャン(印刷、保存)

1回のボタン操作で、複数面を連続してスキャンできます。また、保存形式がPDFの場合は、1ファイルにまとめて保存することができます。



#### ネットワーク保存時の自動削除機能

ネットワーク保存(本体保存)されたデータを、任意の時間経過後に自動的に削除します。本体内蔵メモリからのダウンロード後にデータが削除し忘れた場合でも安心です。また、ダウンロードと同時に内蔵メモリ内のデータを削除する機能もあわせて設定できます。

●ウェブブラウザで削除時間を設定  
経過時間の設定は、LANに接続したパソコンを通してウェブブラウザから行います。

【設定1】スキャンからの経過時間を設定  
書き込みをスキャンした時刻から、設定時間経過後にデータを削除します。

【設定2】ダウンロード直後の自動削除  
内蔵メモリからパソコンにダウンロードする場合、ダウンロード直後にデータを削除する設定も可能です。

